



地域ぐるみで実現する林業の未来



森林・林業分野では、新技術の開発から現場への導入を加速し、安全性、生産性、収益性の向上を図ることが求められています。そのためには、林業以外の分野で発展している先端技術の活用が不可欠です。本イベントでは、異分野との連携・協業を推進する「森ハブ・プラットフォーム」や、デジタル林業を実践する先進地域の取組について、講演・報告・トークセッションを通じて紹介します。

日時

**2026年
2月3日(火)**受付 12:00～（企業のポスター展示あり）
時間 13:00～17:15

場所

TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 8階 大ホール
東京都 新宿区市谷八幡町8番地 （市ヶ谷駅徒歩2分）

定員

200名 参加費無料

申込方法

記載のURLまたは二次元コードから事前にお申し込みください
<https://forms.office.com/r/Bf8jBhjXB9>

お申込

翌2月4日(水)
スマート林業機械・木質系
新素材シンポジウムと
合わせてご参加ください。

プログラム

第1部

13:00～13:55

森ハブの
活動と展望

- 開会挨拶 松本 純治 研究指導課長（林野庁）
- 森ハブのこれまでの取組と今後の展望 八木沢 昌代（林野庁技術開発推進室）
- トークセッション；次世代経営者ワークショップへの参加と今後の期待
ファシリテーター 中澤 昌彦（森林総合研究所）
小宮山 信吾（(有)天女山）、守屋 光泰（守屋木材(株)）、山内 秀紀（(有)ヤナザイ）

第2部

14:00～16:30

デジタル技術を
活用した林業地域
拠点の作り方

- デジタル技術を活用した林業地域拠点の作り方
小川 明穂（林野庁技術開発推進室）
- 基調講演 原木の流通を意識した地域の林業活性化について
遠藤 日雄（NP0法人活木活木森ネットワーク 理事長）



森林調査から木材生産・流通に至る林業活動に、デジタル技術を活用する「デジタル林業」の実践に取り組む地域からの報告

- デジタル林業先進地からの報告
 - ① 仁淀川町森林管理推進協議会
 - ② スマート林業EZ0モデル構築協議会
 - ③ 静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアム
 - ④ 鳥取県デジタル林業コンソーシアム
- トークセッション
ファシリテーター 御田 成顕（森林総合研究所）

第3部

16:45～17:15

地域で活用される
システム・ソフト
等の紹介

- 地域で活用されるシステム等の紹介（ポスター展示、ピッチプレゼン）



(株)アイキューブ

TIMBERTECH

(株)ティンバーテック



HITACHI

株式会社北海道日立システムズ



(株)鳥取県情報センター



(株)マプリィ

山秀情報システム株式会社
Yamahide Information Systemクリック！
各社HPへ

ポスターは12:00から掲示しています。名刺交換の場としてもご活用ください。

主催 林野庁

森ハブ事務局（一般社団法人日本森林技術協会） E-mail : contact@morihub-info.com